

あなたのまちの情報局

4月号

# かながわ Style



神奈川風土 栗町 春の水祭り(2022.3.25)  
名鑑

TAKE FREE ¥0

まちかど ほとニュース

## 古民家がふわむにえる復活

2016年に「虎夫の深夜ウォーキング」で紹介され、話題になった、古民家がふわむにえる。2019年5月から約3年に及ぶ休業期間を経て、この春、4月16日から営業再開! 店主の※口!♪さんにお話を伺ってきました。

一営業再開、おめでとうございます!

「ありがとうございます。」

一休業中はどうされていたのですか?

「実は前までこの店、無許可営業というのにあたっていたみたいで、それを私も周りも誰も気づいていなかつたら摘発されちゃって、罰を受けたりしていました。」

一そうだったのですね!

「はい。」

一では待ち望んでいた方に一言!

「おまたせしました。またムニエル焼いて待っています。いい平日を仕入れましたよ!」



古民家がふわむにえる  
神奈川県余市泉山  
3-23-5  
TEL 3342-0063-9228  
営業時間  
23:00~29:00  
定休日 毎週火曜日



## わが家の献立 vol.28 かぼちゃのグラタン

- 1 かぼちゃは乱切りにし、うつ伏せかけてやわらかくなるまでチン。たまねぎはみじん切りに。
- 2 やわらかくなったかぼちゃをあらめにつぶす。
- 3 フライパンを熱しバターをひく。たまねぎをしなりするまでいためる。
- 4 フライパンにかぼちゃと豆乳を追加し軽く煮詰める。
- 5 火を弱め、コンソメ顆粒、薄力粉、チーズを投入。粘度は豆乳と薄力粉で調整して下さい。
- 6 グラタン皿に移し、チーズをのせる。おいしそうなコグ目がつくまで加熱して完成!



地域のつなきまから寄せられたレシピを紹介するこのコナ。28回目の今月は逗糸市堀谷にお住まいのゆきさん宅定番の献立です!

材量1人分	
かぼちゃ	4個
豆乳	適量
バター	適量
たまねぎ	2個
バター	適量
チーズ	適量
コンソメ顆粒	適量
薄力粉	適量



レシピに一言!  
味見を随時すること!  
ホワイトースの具にもたくさんチーズを入れること!



## 栗町の水祭り

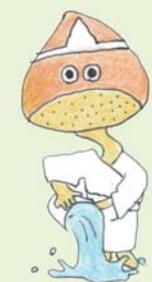
北

隊員による放水開始に大きな歓声が上がる公園内

毎年桜の開花にあわせて区栗町の呪川ダム公園では放水祭りが行われます。春の水祭りは昭和56年から冬場の火事シーズンに活動距離した消防車、消防隊員の消防署主催のもと、誰でも参加できます。現在では当時から続く栗町消防署主催のものとして始まりました。迫力いっぱいの一 日でした。会場ではあたたかいおでんが配られ、参加者たちは嬉しそうに受け取っていました。皆さへこれから季節も火车に受け付けましょう。

## 今月の表紙

かながわ  
ゆるキャラ  
コレクション



## 栗町歴史手帳



栗町はその名のとおり約100年前までは栗畠が広がっていましたが、1912年に建設が始まった呪川ダムの底に沈むことになりました。栗農家の多くによる激しい抗議がくり返されました。当時は氾濫を何度も起こしていた呪川の周辺地域の安全を考慮し、1915年にダムが完成しました。ダム完成の翌年、当時栗農家廃業に追いやられた人々によって、ダム底に沈んだ栗の木たちへの感謝と鎮魂のため、栗田神社が建立されました。栗町を訪れた際は、タムだけではなく、是非栗田神社にも足を運んでみて下さい。くりやくのグッズやお土産もこちらで購入できます。

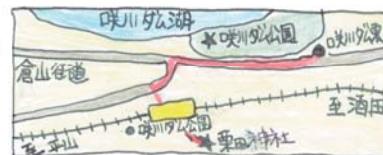
## くりやく

かつて栗町の名産だった栗。ダム底に沈んだ栗がオバケになって栗町の平和を見守っている。

[くりやくグッズ取扱店]  
・栗田神社  
・呪川ダム公園売店  
・ほとショップ林  
・らーめん高橋

## 表紙の土地へ行ってみよう!

NS線平山駅から北へ伸びる呪川電鉄に乗り、「呪川ダム公園」下車または区営バス「呪川ダム東」下車



ホトオリオ審査を通じて初めて平手さんの作品の写真を見た時、分からずを超越して妙な説得力を感じた。かうじて形を保っているように見えるオブジェクト(衣服?)は丁寧に縫製されており着用に耐える構造を備えていることをその後の展示で知った。ファッションを軽視せずに制作している平手さんの態度に誠実さとサービス精神を感じた。確かに展示予定の作品では着ていたオブジェクトは自らして文字通りオブジェクトになるが、代わりに平手さんが「自作の服(高校球児のようなユニフォーム)」を着て登場することによってファッション要素は無くならない。写真なので「詳細ではないがこのユニフォームも服として良さそうに見える。本人はそういう視点から見られることは不本意かもしれないが、どんなふうに見られても平手さんの本質が損なわれることはない、そういう強度を持った作家だ」と思う。今思えば、それが妙な説得力の正体だったのかもしれない。



田中 良治さん  
(ウェブ・デザイナー)

平手さんを知る人は：：

When I first saw photos of Hirate's works during the portfolio judging, I sensed an ineffable power of persuasion that transcended my inability to understand what I was seeing. It was later, when I saw them exhibited in the group show, that I came to know that her objects (clothing?), which just barely seemed to maintain their shape, are actually meticulously sewn and structurally fit for wearing. In Hirate's attitude toward production, I sensed sincerity, never making light of fashion, combined with her desire to entertain. True, among the works scheduled to be included in her solo exhibition, objects she wore will become objects, literally; yet when Hirate appears wearing clothing of her own making (a uniform of the kind worn by high school baseball players), the fashion element isn't lost. Since what I'm seeing are photos, I can't be sure of details, but her uniform too seems to be quite suitable as clothing. Though being seen from such a perspective may go against Hirate's own intentions, Hirate's true essence isn't adversely affected no matter how she is viewed—she's that strong an artist, I think. In retrospect, that may be precisely where her persuasive power comes from. Ryoji Tanaka (Web Designer)

## 主催・会場のがーディアン・ガーデンとは？

ガーディアン・ガーデンは、1990年のオープン以来、若手クリエイターに表現する「機会」と「場所」を提供しようと、公募展を中心に活動を展開しています。「I-WALL」は2009年にスタートし、グラフィック部門と写真部門をそれぞれ年2回開催しています。ポートフォリオ一次審査、ポートフォリオレビューの二次審査、マイナリスト5人によるグループ展の「I-WALL」展と公開最終審査を勝ち抜いた「グランプリ」受賞者には、一年間の制作期間の後の個展開催の権利が贈られます。このパンフレットは、第23回グラフィック「I-WALL」で「グランプリ」を獲得した平手の受賞から一年後に開催する個展にあわせて制作しました。

Since its opening in 1990, Guardian Garden has undertaken a variety of activities to provide young creative opportunities and a venue to exhibit their works. At the center of the gallery's activities are exhibitions of works chosen from open calls for entries by any aspiring talent. The "1-WALL" series of open competitions was launched in 2009, alternating between graphic and photographic categories each held twice every year. The competitions commence with judging of all entrants' portfolios, followed by one-on-one discussions of the portfolios of entrants selected in the first round. The field is then narrowed down to 5 finalists who then participate in a "1-WALL" group exhibition. During the exhibition, a panel of judges performs a final round of judging, open to public viewing and a Grand Prize winner is chosen. The winner is awarded the privilege of holding a solo exhibition at the gallery after a preparation period of one year.

This leaflet was prepared in conjunction with the solo exhibition of Hirate, the Grand Prize Winner in the 23rd "1-WALL" Graphics Competition held in 2021.

## 春のイベント情報

## 第23回グラフィック「1\_WALL」 グランプリ受賞者個展 平手展「巻に綿を詰める」

2021年4月12日(火)～5月21日(土)  
11:00～19:00  
日曜・4月29日～5月5日休館 入場無料  
主催・会場:ガーディアン・ガーデン



Grand Prize Winner's Solo Exhibition: "Fists Filled with Cotton"  
April 12 (Tue)-May 21 (Sat), 2022 11:00 a.m.-7:00 p.m.  
Closed Sundays, and April 29 - May 5. Admission free.  
Organizer: Guardian Garden

### 平手さんより、展示によせる「ステートメント(声明)」

ちょうど私の顔の高さに取り付けた拳が、  
いきおいよく私を殴る動きを目指して改良  
をつづけたが現状拳(ふかわ)の顔にあ  
たるのみ。  
命の無いかわいいこれと殴り合いをやれた  
ら良いなと思ったけど、なんともいえない  
動きに行き着いたこれ、と私が殴り合いの  
夢のまわりを妙なスピードでうろついていた。  
このままで夢が叶うのも破れるのも知ら  
ないままでさあ海に山に川に土にコンクリに  
どこへでも出かけよう。

うん。

I kept making improvements aiming for the fist, which I attached at precisely the height of my face, to work like it was hitting me with a powerful punch. So far, though, it just brushes lightly across my face.  
I thought it would be neat if I could engage in fisticuffs with this cute, lifeless thing. But with its indescribable movements it just kept loitering, with strange speed, around the perimeters of my dream of fighting it.  
Uncertain whether my dream will or won't ever come true, OK, just the way it is, let's go to the beach, to the mountains, to a river, to dirt, to concrete, to anywhere.

"Yeah."

Hirate



平手

1997年7月25日神奈川県生まれ  
2016年多摩美術大学油画専攻入学和太鼓サークル金鶴会太鼓入部  
2018年同大学中退、肉屋で働き始める、一人暮らしを始める

2019年寿司屋でも働き始める  
2020年金澤水太鼓卒業、こののがこうフライヤー-コース24期へ参加し修了  
2021年1月に肉屋を辞める

以後未定

Hirate

July 25, 1997 Born in Kanagawa Prefecture  
2016 Entered Tama Art University, majoring in oil painting.  
Joined the "Yamizukuroko" club of taiko drum players.

2018 Withdrew from the university and started working in a butcher shop. Simultaneously began living on her own.  
2019 Also started working at a cabinetry company.

2019 Also started working at a Sushi restaurant.  
2020 Graduated from Yarimizudaiko and joined, and completed the 24th  
Primary course of Gosenza.

2021 In January, quit her job at the butcher shop. Thereafter, plans are undecided.

神奈川県在住の平手さんが東京都内で“展示”を発表！

# さくらりひとびと 28回

前回に引き続き

## 県立平手高校野球部特集!

今月は3年生の△×%+○くん



**アコートな時代の働き方。**

**レンタルスペースで  
あなたも持てる、"じぶん"のオフィス**

**あこがれの銀座にあなたの会社、構えてみませんか**

スペシャルサンクス 弓削田

第23回グラフィック「\_WALL」グランプリ:平手 23rd "1-WALL" Graphics Competition Grand Prize:Hitate  
審査員:上西祐理(アートディレクター/グラフィックデザイナー), Judges: Yuki Uenishi(Art director/Graphic designer),  
田中良治(ウェブ・デザイナー), 長崎訓子(イラストレーター), Ryoji Tanaka(Web Designer), Kuniiko Nagasaki(Illustrator),  
服部一成(グラフィックデザイナー), 室賀清徳(編集者), Kazunari Hattori(Graphic designer), Kiyonori Murogai(Editor)  
\*五十音順・敬称略

ガーディアン・ガーデン  
〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5  
ヒューリック銀座7丁目ビルB1F  
TEL 03-6835-2270 <http://rcc.recruit.co.jp/>  
編集・発行元:株式会社リクルートホールディングス  
リクルートクリエイティブセンター ガーディアン・ガーデン

Organizer: Guardian Garden  
Hulic Ginza 7 Chome Building, B1F  
7-3-5 Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-8227  
TEL. +81-3-6835-2270 <http://rcc.recruit.co.jp/>  
Editot/Publisher : Guardian Garden, Recruit Creative Center, Recruit Holdings Co.,Ltd.

RECRUIT  
Guardian Garden  
Graphics  
1-WALL

「はじめまして。上野くんから△×%+○くんに突撃インタビュー︕」  
「はじめまして。上野くんから△×%+○くんに突撃インタビュー︕」  
「あれ、先月号、読んでない?」  
「読んでないです。」  
「話題になってるエース大山くんの両手投げは△×%+○くんが考えたとか。」  
「あはい、あれは両手投げをもし上手くできたらそっちの方が速そうだと思って投げてねたのを大山が見ててはじめはふざけてたんだけど、本当にあいつ、両手で投げる方が速くなっちゃったんですね。」  
「すごい発明でしたね、革命的とも言われているけれど。」  
「うーんでも見た目とかちょっと変わったから、はやったり、広またたりはしないと感います。」

実はこの取材の翌日、3月26日は、兵庫県の強豪丹波北高校との2回戦!この記事が出る頃には選抜の結果は出揃っているだろうけど、平手高校の頑張りをいつでも応援しています!



元祖 両手投げを見せてくれた。

春の選抜、21世紀枠で今年初出場となつた平手高校。取材当时、先日試合を勝ち抜いたばかり。

前回登場した主将、上野くんの相棒であり、副主将の△×%+○くんに突撃インタビュー︕

「はじめまして。上野くんから△×%+○くんに突撃インタビュー︕」  
「はじめまして。上野くんから△×%+○くんに突撃インタビュー︕」  
「あれ、先月号、読んでない?」  
「読んでないです。」

「話題になってるエース大山くんの両手投げは△×%+○くんが考えたとか。」  
「あはい、あれは両手投げをもし上手くできたらそっちの方が速そうだと思って投げてねたのを大山が見ててはじめはふざけてたんだけど、本当にあいつ、両手で投げる方が速くなっちゃったんですね。」  
「すごい発明でしたね、革命的とも言われているけれど。」  
「うーんでも見た目とかちょっと変わったから、はやったり、広またたりはしないと感います。」



# さがしています



ラリー・ペー・パー カンガルワ Style 取扱専門の写真。  
取扱翌日から行方不明になっています。

一緒に目撃された男性。  
氏名、年齢等は現在不明。  
服は着ていないように見える。



△×%+○(17)

身長 165cm 体重 54kg

3月26日の朝8時頃「試合に行ってくる。」と出かけたまま行方がわからなくなっています。同日午前9時頃に平手駅付近を身長170cmほどの男性と歩く姿が目撲されており、失踪について強い関連があるとして、この人物に心当たりのある方の情報をお待ちしております。

△×%+○ 失踪時の服装  
平手高校野球部のユニフォーム  
(背番号3番)



平手駅前 防犯カメラの画像(北口ロータリー周辺)

あっ!

と感じたら

神奈川県平手警察署 9387-15-3337